

J R 総連通信

2024年6月20日 No.1756

全日本鉄道労働組合総連合会（JR総連） <http://www.jr-souren.com>

「裏金・軍拡・改憲・カルト癒着・・・

#それでも自民党政治を続けますか？

6・19国会正門前行動」

6月19日(水)、総がかり行動実行委員会などの呼びかけによる「裏金・軍拡・改憲・カルト癒着・・・#それでも自民党政治を続けますか？6・19国会前正門前行動」が取り組まれ、市民団体、労働組合など主催者発表で約1,000人が結集しました。



JR総連は、JR東労組・JR貨物労組の仲間と9条連の仲間とともに参加し、「金権腐敗政治を許さない」「憲法9条改悪反対」「戦争反対」の声をあげてきました。

主催者を代表して、総がかり行動実行委員会の染裕之さんは政治資金規正法改正では企業・団体献金は禁止されなかったと批判し、自民党に憲法を語る資格はないとして「自民党政治の退陣を求めていこう」と呼びかけました。その後、野党や市民団体の代表がスピーチに立ち、「市民と野党の共闘を再構築して、憲法を壊し、『戦争する国』づくりをすすめる自民党政治を終わらせよう」などと訴えました。

JR総連は軍備増強・戦争体制強化に反対し、憲法9条を守り抜くために、各単組、9条連仲間、市民団体の方々などと、連帯してたたかっています！

「19日行動」は、2015年9月19日に強行成立させられた安保法制（戦争法）の廃止を求めて、国会議員会館前を中心に毎月19日におこなわれています。